



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社イメージ・マジック 上場取引所 東
コード番号 7793 URL <https://imagemagic.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山川 誠
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）栗原 俊幸 TEL 03(6825)7510
半期報告書提出予定日 2026年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	5,148	17.6	242	16.6	245	17.2	164	41.4
2025年12月期中間期	4,375	29.3	207	52.5	209	43.2	116	21.5

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	66.15	65.71
2025年12月期中間期	48.48	45.91

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	3,499	2,043	58.4
2025年12月期	3,508	2,055	58.6

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 2,043百万円 2025年12月期 2,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	13.8	650	16.9	650	16.4	440	33.4	175.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料７ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	2,572,235株	2025年12月期	2,572,235株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	117,856株	2025年12月期	60,056株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	2,484,266株	2025年12月期中間期	2,396,921株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は、「個性と創造性溢れる豊かな社会作りに貢献します。」を経営理念とし、先端A I技術と独自のシステム・ハードウェアを融合させた「オンデマンド製造の自動化プラットフォーム」を展開する企業として事業を推進しております。

当社の展開するサービスは、インターネットを通じたアパレル・雑貨へのオンデマンドプリントサービス、およびA Iによる自動最適化ワークフローを組み込んだソリューションサービス（ソフトウェア・ハードウェア提供）であります。これらを実現するため、画像生成A Iを活用したデザイン支援や、A Iカメラによる検品・生産工程の自律制御システムの開発を加速させ、人手不足に対応した「止まらない工場（徹底した省人化と、ミスを未然に防ぐ製造フローのD X）」を推進しております。また、オンデマンド生産の徹底による「必要なものを、必要な時に、必要な分だけ」作る仕組みは、過剰在庫を排除し、S D G sの観点からも環境負荷低減に直結しております。

当社が属するオンデマンドプリント業界では、顧客ニーズは「短納期」や「パーソナライズの深化」への傾向が益々強まっております。特に、ファンコミュニティにおける「推し活」関連需要は、生成A I技術によって生み出される多様なコンテンツとの相乗効果により、さらなる市場拡大を見せております。当社はこれらの変化を捉え、A Iとハードウェアの高度な連携により、多品種・極小ロット生産における圧倒的な競争優位性を構築してまいります。

このような環境の中、オンデマンドプリントサービスでは、様々な顧客ニーズに対応し、オンデマンド生産できるアイテムを拡充すべく新商品の取扱いを強化し、自社E Cサイトの「オリジナルプリント.jp」が好調に推移いたしました。ソリューションサービスではハードウェアの消耗品売上高が好調を維持いたしました。

当中間会計期間において、オンデマンドプリントサービスの売上高は4,622,014千円（前年同期比17.6%増）となりました。

また、ソリューションサービスの売上高は526,215千円（前年同期比18.2%増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は5,148,230千円（前年同期比17.6%増）、営業利益は242,370千円（同16.6%増）、経常利益は245,086千円（同17.2%増）、中間純利益は164,331千円（同41.4%増）となりました。

なお、当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当中間会計期間末における流動資産は2,033,516千円となり、前事業年度末と比較して222,473千円の減少となりました。これは主に売掛金の増加317,639千円があったものの、現金及び預金の減少615,553千円によるものであります。

（固定資産）

当中間会計期間末における固定資産は1,466,296千円となり、前事業年度末と比較して214,065千円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加209,209千円によるものであります。

（流動負債）

当中間会計期間末における流動負債は1,318,204千円となり、前事業年度末と比較して26,644千円の増加となりました。これは主に買掛金の増加114,214千円、賞与引当金の増加49,922千円があったものの、賞与の支給等に伴うその他の減少110,717千円によるものであります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債は138,126千円となり、前事業年度末と比較して22,658千円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少29,630千円によるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は2,043,481千円となり、前事業年度末と比較して12,394千円の減少となりました。これは主に中間純利益の計上164,331千円があったものの、自己株式の増加96,335千円、配当金の支払80,389千円による利益剰余金の減少によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は552,121千円となり、前事業年度末と比較して615,553千円の減少となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、42,895千円（前年同期は33,330千円の獲得）となりました。

これは主に資金増加要因である税引前中間純利益の計上239,996千円、減価償却費133,536千円、仕入債務の増加114,214千円があった一方で、資金減少要因である売上債権の増加317,639千円、その他の流動負債の減少106,433千円、法人税等の支払額91,517千円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、353,758千円（前年同期は263,174千円の使用）となりました。

これは主に、工場の建物附属設備および機械装置に係る有形固定資産の取得による支出339,367千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、218,898千円（前年同期は131,784千円の使用）となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出96,335千円、配当金の支払額80,388千円、長期借入金の返済による支出39,350千円によるものです。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間における業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、2026年12月期の業績予想については、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,167,674	552,121
売掛金	497,945	815,584
商品及び製品	186,810	183,281
仕掛品	40,799	80,075
原材料及び貯蔵品	183,188	150,060
その他	180,356	253,419
貸倒引当金	△786	△1,026
流動資産合計	2,255,990	2,033,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	354,355	424,047
機械及び装置（純額）	473,097	559,576
その他（純額）	218,610	271,648
有形固定資産合計	1,046,062	1,255,272
無形固定資産	52,573	48,765
投資その他の資産		
敷金及び保証金	79,758	81,973
繰延税金資産	59,545	59,545
破産更生債権等	25,225	25,225
その他	14,291	20,740
貸倒引当金	△25,225	△25,225
投資その他の資産合計	153,594	162,258
固定資産合計	1,252,230	1,466,296
資産合計	3,508,220	3,499,812
負債の部		
流動負債		
買掛金	357,960	472,175
1年内返済予定の長期借入金	70,840	61,120
未払法人税等	107,520	91,051
賞与引当金	—	49,922
商品保証引当金	6,927	6,341
その他	748,312	637,594
流動負債合計	1,291,560	1,318,204
固定負債		
長期借入金	84,164	54,534
資産除去債務	74,755	83,166
その他	1,865	426
固定負債合計	160,785	138,126
負債合計	1,452,345	1,456,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,963	347,963
資本剰余金	522,198	522,198
利益剰余金	1,273,093	1,357,034
自己株式	△87,379	△183,715
株主資本合計	2,055,875	2,043,481
純資産合計	2,055,875	2,043,481
負債純資産合計	3,508,220	3,499,812

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,375,890	5,148,230
売上原価	2,590,617	3,100,038
売上総利益	1,785,272	2,048,191
販売費及び一般管理費	1,577,485	1,805,821
営業利益	207,786	242,370
営業外収益		
受取利息	396	1,059
受取家賃	639	1,278
債務勘定整理益	755	452
消費税等差額	533	884
その他	412	392
営業外収益合計	2,736	4,067
営業外費用		
支払利息	1,308	897
支払手数料	81	288
その他	31	165
営業外費用合計	1,420	1,352
経常利益	209,102	245,086
特別損失		
固定資産除却損	8,611	3,089
減損損失	—	2,000
貸倒引当金繰入額	25,225	—
特別損失合計	33,836	5,089
税引前中間純利益	175,265	239,996
法人税等	59,070	75,665
中間純利益	116,195	164,331

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	175,265	239,996
減価償却費	121,813	133,536
減損損失	—	2,000
貸倒引当金の増減額（△は減少）	24,870	239
賞与引当金の増減額（△は減少）	—	49,922
商品保証引当金の増減額（△は減少）	1,490	△586
受取利息	△396	△1,059
支払利息	1,308	897
固定資産除却損	8,611	3,089
売上債権の増減額（△は増加）	△235,749	△317,639
棚卸資産の増減額（△は増加）	△79,767	△18,403
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△16,614	△73,026
仕入債務の増減額（△は減少）	120,564	114,214
前受金の増減額（△は減少）	18,860	28,199
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△56,429	△106,433
その他	△1,421	△6,449
小計	82,405	48,499
利息の受取額	396	1,059
利息の支払額	△1,352	△937
法人税等の支払額	△48,118	△91,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,330	△42,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△253,397	△339,367
無形固定資産の取得による支出	△6,524	△12,177
敷金及び保証金の回収による収入	3,479	226
敷金及び保証金の差入による支出	△2,789	△2,440
資産除去債務の履行による支出	△4,368	—
その他	426	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△263,174	△353,758
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49,904	△39,350
リース債務の返済による支出	△7,578	△2,825
新株予約権の行使による株式の発行による収入	24,242	—
自己株式の取得による支出	△27,037	△96,335
配当金の支払額	△71,506	△80,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,784	△218,898
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△361,627	△615,553
現金及び現金同等物の期首残高	940,857	1,167,674
現金及び現金同等物の中間期末残高	579,229	552,121

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。